

〔発行〕 会長 村田 博

〔編集〕 広報部

〒337-0053

さいたま市見沼区大和田町1-1387-1

電話・FAX 048-687-7935

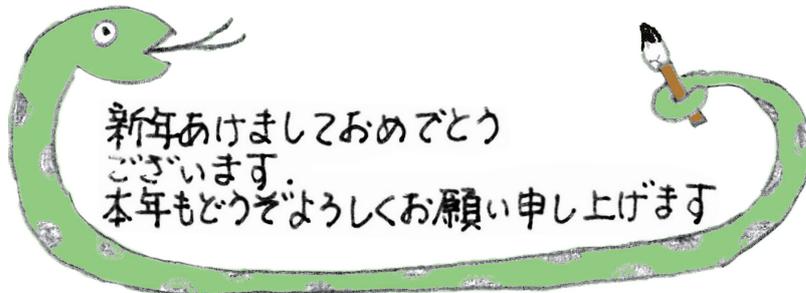
<http://oosatohigashi.sakura.ne.jp>

担当地区：大和田・島・堀崎・東大宮

# えが お



会長 村田 博



新年あけましておめでとう  
ございます。  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

みなさん近年に於ける異常気象は、稀にみる夏場の猛暑や大雨などの自然災害が心配されるところですが、みなさん一人ひとりがそれぞれの体力に応じた体調管理に心がけていただきたいと思います。

さて、昨年の諸活動については、コロナ感染症の影響をほとんど受けずに済んだ1年となりましたので、各種サロン活動や様々なイベントなども、年初の計画通り概ね順調に取り組むことができました。

また、昨年11月には「市民会館おおみや」に於いて「令和6年度さいたま市社会福祉大会」が開催され、主任児童委員の3名(茂木晴代・西尾奈巳・小林綾)とコーディネーター(椋山律江)の4人が、それぞれの持ち場に於いて「ぼっかぼかサロン」並びに「ぼっかぼかサロンミニ」について、日頃の取り組み実態を発表し参加者の共感を得たものと思われまますので、今後もそのような機会があれば適宜、対応していきたいと考えております。

令和7年度についても「大砂土東地区第5次地域福祉行動計画」に基づき、様々な取り組みについて着実に進めていきたいと思ひます。つきましては関係諸団体をはじめ地域のみなさんのご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

また、高齢化が進む中で「見守り活動」や「お助け隊」の取り組みは、益々その必要性が高まっていますので地域のみなさんの更なるご協力をお願いいたします。

新年を迎え新たな気持ちで諸事業の推進に取り組む所存ですので、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



## みんなのサロン大和田

代表 田中 恵子

賀正

あけましておめでとうございます



「みんなのサロン大和田」は大和田町1丁目・2丁目にお住まいの方を中心に毎月第3水曜日の午前中に大和田自治会館で開催しています。

前半はミニゲーム(スタッフで考えた手作りゲームなど楽しくやっています)、朗読会、室内エクササイズその他マンドリンやオカリナの演奏会なども開いています。

後半は季節の童謡や懐かしい楽曲を生バイオリンやキーボードの演奏で歌っています。声を出すことが心身ともに良いことだと思っています。上手に歌うことを目的としていません。無理せず楽しみながらをモットーに活動していますので、どうぞお気軽にご参加ください。お待ちしております。



# 世代間交流事業の推進

— 学校 PTA 事業に地域社会団体として参加 —

《疑似体験実施・・・島小まつり 10月12日(土)・大砂土東小 松の子まつり 10月19日(土)・見沼小 もつくるフェスティバル 10月30日(水)》



## 令和6年度さいたま市社会福祉大会

1. 日 時 令和6年11月25日(月)午後1時30分開会
2. 会 場 RaiBoC Hall (市民会館おおみや) 大ホール
3. 内 容 表彰・大会決議・講演会・実践報告
4. 対 象 被表彰者・民生児童委員・さいたま市関係者・社会福祉協議会関係者他
5. 講 演 会 テーマ「孤独・孤立防止に向けた地域づくり」  
講師 日本社会事業大学教授 菱沼幹男氏
6. 実 践 報 告 大砂土東地区社会福祉協議会 (見沼区)  
北部第一地区社会福祉協議会 (浦和区)



### 《実践報告内容》

テーマ「ぼっかぼかサロン・ぼっかぼかサロンミニの取り組みについて」

発表者 茂木晴代・西尾奈巳・小林綾・梶山律江

①ぼっかぼかサロンを始めたきっかけ

⇒「さわやか相談員の先生のひと言」からはじまる。

②開催場所について

⇒「気軽にお話できる場所」を作ることから様々な方々の協力を得ながら見沼区役所の休日開庁日に合わせて区役所内の多目的室で開催。

③新たなチャレンジに向けて

⇒X (旧ツイッター) の利用。QRコードの作成。地域・学校への協力願い。



④新たな取り組みの結果

⇒スクリレ (学校と保護者の連絡をとるアプリ) や『X』を見て、ゆっくりではあるが少しずつ反響があると感じている。

### ご協力ありがとうございました

- ・社会福祉協議会賛助会費 1,060,700円
  - ・赤い羽根共同募金 2,946,706円
  - ・歳末たすけあい募金 1,005,960円
  - ・街頭募金 23,794円
- (寄付)
- ・公民館まつり実行委員会 67,006円
  - ・東大宮7丁目 車イス

### 賛助会費

地域福祉活動を進めていく上で重要な財源となっています。

### 共同募金

10月1日から全国一斉に行われます。地域福祉の推進を図るための募金活動です。お寄せいただいた募金は、県内の社会福祉団体等の施設設備や活動資金の拡充、災害時には、災害ボランティアセンターの設置や運営など、被災地支援にも役立てられています。

### 令和5年度さいたま市の使い道

さいたま市赤い羽根募金

①障害児が安心して利用するために指導訓練室等の修繕に活用。

②高齢者の楽しい交流のために「ふれあい会食の開催」を実施。

③子どもたちの笑顔のために「園庭用砂場の設置」を実施。

④地域の福祉情報をお届けするために「広報紙の発行」。

※歳末たすけあい募金は地区社協に配分され、福祉活動の充実に活用される。



### 編集後記

令和7年の干支は「巳(み・へび)」なので挨拶では「臥龍蛇の勢い」などの言葉を使うことができます。「臥龍蛇の勢い」は龍が横たわり、蛇がその力を合わせて勢いをつける様子を表現した言葉です。潜在的な力を持つ人物が動き出し、大きな影響を与えることを意味します。また、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味を持つ年とされています。また、巳年には次のような意味合いがあります。

- ・脱皮をする蛇のイメージから「復活と再生」を意味する。
- ・植物に種子ができはじめる時期、次の生命が誕生する時期など新しいことが始まる年になると言われる。
- ・「巳」を「実」とかけて「実を結ぶ」年とも言われる。「巳」という漢字は胎児の形から派生しており、「新しく生まれてくる」「将来・未来がある」「子孫繁栄」「家族が平和になる」といった意味がある。それに乗っかっていこう!!

